

一般質問

市政の取り組み

この定例会では、8月31日から9月2日までの3日間で16人が登壇し、34項目にわたり、市政について一般質問が行われました。主な項目について要約し、掲載します。

質問項目（発言順） ※：掲載した項目

- 星野 雅春 議員
 - 暑さ対策について
 - スポーツ振興について
 - 自損行為統計が示すものについて
- 牛田 清博 議員
 - 新型コロナウイルス7波の現状と対策について
 - 暮らしと仕事、地域の願い・協同労働について
 - 女性、高齢者、地元経済等を生かす地域交通について
 - 旧統一教会に関係する団体からの要請と対応について
- 上田 昌哉 議員
 - 刈谷市の農業について
 - 刈谷市の児童・生徒について
 - シモ子 議員
- 山本 シモ子 議員
 - 公職選挙法に基づく選挙活動について
 - 安倍元首相の「国葬」問題について
 - 豊かに学ぶ教育の充実について
 - 市民の暮らしを豊かにする諸施策について
- 蜂須賀 信明 議員
 - 第4次刈谷市地域福祉計画について
 - 鈴木 浩二 議員
- 渡邊 妙美 議員
 - 一市民一スポーツについて
 - ギフトデッド児について
- 鈴木 網男 議員
 - 刈谷豊田総合病院について
 - 刈谷野田北部土地画整理事業について
 - 白土 美恵子 議員
 - 女性の活躍推進について
 - 福祉施策の充実について
 - 葛原 祐季 議員
 - 障がい者の情報取得利用及び意思疎通に係る施策について
- 黒川 智明 議員
 - 刈谷市のICTの危機管理について
 - 刈谷市の防災・減災の取組について

質問・答弁がホームページから御覧になれます。「刈谷市議会」で検索し、「議会映像を見る」をクリックしてください。



星野 雅春 議員

自殺対策への取組に力を注いでいくべき!!
—各種相談窓口へつなぐための情報発信や啓発等を実施している—
令和3年度の自損行為による救急搬送の件数は、

本市において、自損行為により救急搬送された方が52人、そのうち亡くなった方が15人である。

自損行為の統計をどのように生かしているのか。
本市における自殺者数の統計は、国が公表する地域における自殺の基礎資料を用い、国や県との比較、性別、年齢別、職業別の分析を行い、各種自殺対策への取組に生かしている。

牛田 清博 議員

旧統一協会とその関係団体との市長の関わりは
—祝文を送ったことはあるが、今後は一切関係を持たない—

旧統一協会とその関係団体からの会議等の出席依頼は全て断り、祝文は4件送ったとのことだが、寄附はあったのか。
関係があると思われる団体からの寄附はない。
なぜ祝文を送付したのか。
当時、旧統一協会と関係のある団体との認識はなく、依頼者からの要望もあり、祝文を出している。
今後は、主催者並びに関

上田 昌哉 議員

安定的に水が供給され農業が安心して続けられる環境を!!
—市民への重要な役割を担う農業の振興に努める—

明治用水頭首工の漏水事故後、現在は全地域に通水され平常どおりになりつつある。事故に対する農家からの意見や市の対応についてはどうだったか。
断水の影響で田植などができないなどの意見をいただき、配水場などで水の提供を行った。また、農作物の栽培に影響を受けた耕作者等に對し、見舞金を

山本 シモ子 議員

コロナ禍・物価高騰の暮らしに配慮の施策を!!
—市民の個々の状況に応じて対応をしていく—

コロナ禍に続き、諸物価の値上げは市民生活を直撃している。苦しい生活によって住民税を滞納せざるを得ない人もいる中、企業に対する法人市民税の標準税率6.0%から8.4%までのうち6.0%で、減額をしているが、それはなぜか。
法人市民税については、市内法人の転出や、本市への進出を検討している法人への影響が懸念されるため、税率の引上げは考えていない。

蜂須賀 信明 議員

民生委員・児童委員の活動内容が広く理解されるよう対応を!!
—民生だよりでの活動紹介や地域に根付いた取組を行う—

民生委員・児童委員は社会福祉増進のため、地域住民の立場から生活や福祉全般に関わる相談や援助活動の大切なパイプ役として、献身的に取り組まれている。活動内容が住民に理解されるための行政の対応は。
民生委員と協力し、5月の「民生委員・児童委員の日」に合わせ、市民だよりで活動内容の紹介を行うほか、一目で伝わるよう、デザインを工夫したりリーフレットを作成している。

高橋 祐季 議員

障害者の情報アクセスに係る整備推進の取組強化を!!
—遠隔手話通訳サービス等の新たな取組について調査を進める—

障害者が同一時点で、同一情報を得ることができるような施策を推進する新たな法律が施行された。障害者の情報取得と意思疎通に当たり、どのような配慮と取組が行われているか。
また災害発生時の対策は。
事前登録していただいた方に市民だよりを音声データとして届けており、ホームページにも掲載している。庁舎の窓口では手話通訳を介して意思疎通を図っている。災害発生時には「あいかり」や防災ラジオなどの複数の媒体により情報発信を行う。



地域の身近な相談役として活躍する民生委員

- 鈴木 浩二 議員
 - 全国学力学習状況調査の結果について
 - 住吉小学校擁壁改修事業について
- 城内 志津 議員
 - 地域共生社会の実現について
 - 学校図書館の活用について
 - スクールソーシャルワーカーの配置について
 - 平行政のあり方について
- 松永 寿 議員
 - 人と動物の共生社会について
 - 害虫・害獣駆除の相談対応について
- 稲垣 雅弘 議員
 - 農業の経営支援と基盤整備について
- 谷口 睦生 議員
 - カーボンニュートラル達成への施策について

鈴木 浩二 議員

全国的な人口減少が進む中、新市街地の創出は必要なのか!!
—転出抑制や定住促進のためにも、新市街地創出は必要と考える—

全国で人口減少が推計される中、第8次総合計画案では、人口増加への諸施策が検討されている。人口が増えなければ、新市街地創出は、将来世代の負担となることもあり得る。目標達成の見込みはあるのか。
計画は現在策定中だが、目標人口は出生率向上、転出超過の抑制を図る想定の上で設定しており、若い世代や子育て世代への支援や魅力ある働く場の創出などを重点戦略とし、定住促進を図りたいと考えている。

20年後には西三河全体で人口減少が推測されている。必要以上の市街地拡大ではなく、現市街地での再開発や高度利用などを進めるべきではないか。
（主な答弁者：・教育部長）
ホームタウンパートナー制度を生かして刈谷市に盛り上がり!!
—刈谷市のPRやイメージアップを図りスポーツ振興に努める—



第3次刈谷市都市計画マスタープラン

鈴木 網男 議員

市民病院の充実
—注意深く見守ることも、必要に応じ市の意向等を伝えていきたい—

刈谷豊田総合病院はベテラン医師が少なく不安との市民の声があり、医師の定着率は重視していかなければならない。市民病院的病院としての位置づけということで認識しているが、市長、副市長は理事会や運営委員会ですべての意見や要望を伝えているか。
市としての立場、市民の視点からこの病院がどうあるべきかを念頭に意見・要望を述べている。

白土 美恵子 議員

市役所庁舎の男性用トイレにサニタリーボックスの設置を!!
—気兼ねなく市役所に来ていただけるよう設置の準備を進める—

尿漏れの原因となる前立腺がんや膀胱がんの罹患率の推移は。
国立研究開発法人国立がん研究センターの最新のがん統計によると、令和元年度の罹患患者数は前立腺がんが9万4749人、膀胱がんが2万3383人で増加傾向となっている。
がんの手術後は外出時におむつや尿漏れパッドの交換が

子供たちの競技力の向上やスポーツへの興味・関心などが高まるメリットがあると考えている。
断水の影響で田植ができないなどの意見をいただき、配水場などで水の提供を行った。また、農作物の栽培に影響を受けた耕作者等に對し、見舞金を



ホームタウンパートナーチームとの交流で子供たちに素晴らしい経験を

黒川 智明 議員

災害時の要配慮者数を明確にし、共助・公助で対応する仕組みを!!
—各種の避難方法で対応できるように周知と準備を進めていく—

市内の要配慮者の人数把握と必要な場所の確保の状況は。
刈谷市地域防災計画において規定している避難行動に支援が必要と高齢者及び障害者の名簿を作成するための調査が行っており、令和3年度における対象者は高齢者が5647人、障害者が1926人で合計7573人である。また、現在、市内には福祉避難所が13か所あり、その受入れ可能人数は介添者を含め約600人である。
要配慮者の中で福祉避難所の受入れ対象とならない妊婦や乳児の避難方法について、どのように考えているか。
災害時には一般避難所へ

置つけをどう考えているか。
地域の食料生産という重要な役割を担うとともに、農地も遊水地的機能や景観形成など大きな役割を果たしていることから、今後は農業、商業、工業のバランスが取れたまちづくりを進めたい。



様々な事情を抱えた避難者を想定した避難訓練



本庁と支所の連携をオンライン化し利便性を向上